



CHIYODA CITY

# 広報千代田

平成 29 年 (2017 年)

## 4/20 特集号

代表電話 ☎3264-2111

発行 / 千代田区  
編集 / 政策経営部広報広聴課  
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1  
http://www.city.chiyoda.lg.jp

詳しくは「区の仕事のあらまし」で

平成29年度予算を詳しくまとめた「平成29年度区の仕事のあらまし」は、区のホームページでご覧になれます。

また、区政情報コーナー(区役所2階)で1部600円で販売します。



### 平成29年度予算特集

# 平成29年度 千代田区予算 全会計合計668億1,585万円



## 豊かな地域社会の実現に向け、区民生活の安心を支えるために効果的な事業展開を図る予算



昨年公表された国勢調査の結果では、大正9年の調査開始以来、初めて日本の人口が減少となりましたが、本区では都心回帰等による人口の増加が続いており、特に就学前や高齢者などの行政サービスを必要とする年齢層の増加が顕著であります。

本区の人口が増えている背景には、マンション建設などの社会経済状況の変化に加え、「子育てしやすいまち、高齢者にやさしいまち」をはじめ、区民生活を支えるための効果的な施策を展開してきたことにより、「住みやすい、住みたい自治体」と評価されたことも人口増加の要因と考えています。

平成29年度は、豊かな地域社会の実現を目指し、地域の特性や実情を踏まえた積極的な施策展開を図ること、また、すべての事業を多面的に検証し、徹底した事業の見直しと再構築を行い、質の高い、効果的・効率的な区政運営の実現に向けて取り組むことを基本方針といたしまして、「次世代育成に関する取り組み」「保健福祉に関する取り組み」「危機管理に関する取り組み」、そして「東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした取り組み」という4つの項目を重点項目として定め、効果的な事業展開を図るための予算といたしました。

予算規模は、一般会計が545億99百万円、前年度比で12億59百万円、2.3%の減、特別会計を加えた全会計の合計では、668億16百万円、前年度比で12億34百万円、1.8%の減となります。

千代田区長 石川雅己

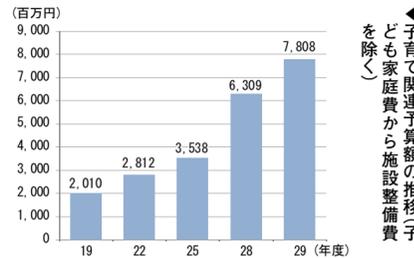


### 主な内容

- 主要な新規・拡充・独自事業の紹介……2・3
  - 次世代育成に関する取り組み
  - 保健福祉に関する取り組み
  - 危機管理に関する取り組み
  - 東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした取り組み
- 平成29年度当初予算………4
  - 各会計予算の規模
  - 一般会計歳入・歳出予算額(目的別)
  - 一般会計歳出予算(性質別)構成比の推移
  - 1年間の区民1人当たりの予算額

問合せ 財政課 ☎5211-4143

# 次世代育成に関する取り組み



## 「保育園」「学童クラブ」の待機児童ゼロを実施・継続 保育人材の確保と処遇改善

**拡充** 私立保育所等への運営補助 37 億 555 万円 子ども支援課

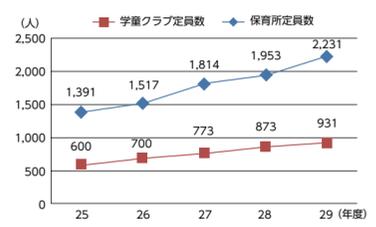
- 保育所の新設整備を進めることが重要である一方、深刻な保育士不足に対応するため、保育人材の確保につながる施策や、給与等の処遇改善を実施
  - ・区独自に保育従事者の給与(処遇改善)を、国と都の補助と合わせて最大約 10 万円(月額)を補助
  - ・宿舍借り上げ補助を 4 万 8 千円引き上げ、区内で最大 13 万円、区外でも新たに最大 8 万 2 千円補助
- 認証保育所等の保育料が、認可保育所より 2 割程度安くなるよう引き続き補助

**拡充** 私立保育所等の整備関連事業 5 億 5,799 万円 子育て推進課

- 保育の需要増に対応するため 278 名分の定員増
- 認可保育所 2 か所を新規開設(麹町地区・神田地区)
- 区有地(旧和泉橋出張所・地蔵橋西児童遊園)を活用して、私立認可保育所を整備(平成 30 年度以降の開設予定)
- 新たに保育所を開設する事業所に、保育士確保策として開設前に実施する研修経費等を助成

**拡充** 私立学童クラブ等への補助 4 億 7,802 万円 児童・家庭支援センター

- 学童クラブの需要増に対応するため 58 名分の定員増
- 新たに私立学童クラブ 1 施設の整備を目指す
- 一部の学童クラブの定員数を拡充することで、小学 1 年生から 6 年生までを、区内の学童クラブ全体で引き続き受け入れ



## 妊娠期から子育て期までの支援の充実

**新規** 出産・子育て支援 267 万円 健康推進課

- 妊婦全数面接=すべての妊婦に対して千代田保健所で保健師が面接。相談や情報提供を行い、不安解消を図る
- 産後ケア事業=病院等での宿泊や助産師による家庭訪問により、母子の心身のケアや育児相談に応じ、産後間もない方を支援。利用者負担の軽減のため、本人負担は 1 割(例：宿泊の場合、1 日約 3 万円のうち、区が 9 割負担)

**拡充** 独自の 子どもの予防接種 3 億 195 万円 健康推進課

- 子どものインフルエンザ予防接種を、高校 3 年生(相当年齢)まで無料化(平成 28 年 10 月から実施。23 区初)

**独自** こども医療費助成 3 億 6,192 万円 子育て推進課

- 0 歳から 18 歳までの児童等を対象に医療費を助成
- 高校生等医療費全額助成は 23 区で唯一

## 保護者負担の軽減

**拡充** 学校給食(小学校・中学校・中等教育学校) 3 億 1,518 万円 学務課

- 保護者負担の給食費が他区と比較し高いことから、給食費を小学校で 1 人 1 食当たり 10 円、中学校で 1 人 1 食当たり 15 円補助

▼ 1 食当たりの給食費比較

	小学校(中学年)	中学校
千代田区	271.00 円	347.00 円
23 区平均	256.34 円	319.42 円

**新規** 独自の 千代田区障害児通所給付事業助成 446 万円 児童・家庭支援センター

- 児童福祉法のサービスの障害児通所支援事業を、18 歳以降(高校卒業相当の期間まで)も引き続きサービスを利用できるよう助成

# 保健福祉に関する取り組み



## 地域包括ケアの充実・高齢者の暮らしの安心 住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を充実

**独自** 高齢者総合サポートセンターの運営 3 億 4,668 万円 在宅支援課

- 高齢者の生活上の悩みや介護等、さまざまな相談に対し、24 時間 365 日ワンストップで対応し、安全と安心を提供
- 併設する九段坂病院が訪問リハビリや通所リハビリを運営し、在宅療養生活をサポート
- 新たに区内養成校と介護事業所等との連携による福祉人材の育成と確保を支援



**新規** (仮称) 二番町高齢者施設の整備 6 億 4,885 万円 高齢介護課

- 国有地を活用した民設民営の高齢者施設を整備
  - 整備内容：特別養護老人ホーム= 108 人程度、認知症高齢者グループホーム= 18 人程度
  - 併設ショートステイ=特別養護老人ホームの 1 割程度の定員
- 敷地概要(整備対象国有地)：所在地=二番町 7-26 外 1 筆、敷地面積：2,299.59㎡
- 開設：平成 31 年度(予定)

**独自** 在宅支援ホームヘルプサービス 5,609 万円 高齢介護課

- 在宅で日常生活を営むのに支障のある要介護の方に対し、訪問介護等のサービスを提供することで、介護保険サービスを補完し、利用される方の能力に応じた日常生活を支援

**独自** 紙おむつ支給 3,537 万円 高齢介護課

- 要介護 1 以上に認定された常時紙おむつを必要とする方に、所得に関わらず紙おむつを現物支給(病院等に入院している場合は現金助成)

## 障害者の意思疎通に関する条例に基づく取り組み

**拡充** 独自の 障害者への合理的配慮の推進 424 万円 障害者福祉課

- 合理的配慮の提供には、意思疎通が欠かせないという理念のもと「千代田区障害者の意思疎通に関する条例」を制定
- 条例の趣旨普及のため、区が共催・後援する事業や区内事業者が開催する講演会等への手話通訳・要約筆記等の派遣経費を補助(1 回当たり上限 5 万円(補助率 10 分の 10・年間 5 回まで))



## 民泊への取り組みを強化

**新規** 拡充 民泊対策関連事業 975 万円 生活衛生課

- 旅館業法違反が疑われる民泊の調査・指導を強化
- 民泊に関する検討会議を設置し、都心区として高まる民泊需要に対して、区にふさわしい適切なルールづくりを検討

## 生活困窮者への生活支援を強化

**拡充** 生活困窮者自立支援 935 万円 生活支援課

- 「子どもの学習支援」の充実を図るとともに、「就労準備支援」を新たに開始

# 危機管理に関する取り組み

## 医療救護体制の検証

**拡充** 災害医療連携の推進 2,075 万円 地域保健課

- 緊急医療救護所設置訓練を実施し、医療救護体制の検証を行う
  - 医療救護に従事する人材を確保し、災害現場での医療資格確認手段として活用するため、医療救護活動にご協力いただける医師、歯科医師、薬剤師等の登録証を発行
- ※緊急医療救護所設置場所…日本大学病院、三井記念病院、東京通信病院、三楽病院、九段坂病院、半蔵門病院の近接地等



## 避難所防災訓練に新たなメニューを導入

**拡充** 防災訓練 2,062 万円 災害対策・危機管理課

- HUG 訓練(\*)などの新しいメニューの訓練を導入
- \* HUG は、H (Hinanzyo 避難所)、U (Unei 運営)、G (Game ゲーム)の頭文字を取ったもの。避難者の年齢・性別・国籍や各々が抱える事情が書かれたカードと一般的な避難所に見立てた平面図を使い、①どれだけ適切に配置できるか、②避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくかを、ゲーム形式で模擬体験できる訓練



# 東京オリンピック・パラリンピック 開催を契機とした取り組み

## 都心の魅力あふれるまち

**新規** 独自の 北の丸公園周辺地域整備の推進 1 億 2,038 万円 麹町地域まちづくり課/道路公園課

- 「豊かな水辺と緑の歩行空間の創出」「人に優しいバリアフリー化の実現」を目指し、九段坂公園および周辺を一體的に整備、代官町通りの歩道の拡幅等を実施



**拡充** 公衆トイレのリフレッシュ 2,520 万円 道路公園課

- だれもが安心して利用できるトイレ環境を提供、公衆トイレのサインを統一、便座等を修繕

**新規** 文化財サインの更新 5,538 万円 文化振興課

- 区の文化財サインを統一的なデザインに更新(英語も表記)
- 平成 29 年度～ 31 年度の 3 年間で、170 か所を計画的に更新

## 誰にとっても居心地の良いまち

**独自** 生活環境改善推進 3,546 万円 安全生活課

- 平成 14 年度に全国に先駆け路上喫煙を禁止する生活環境条例を制定
- 新たに「生活環境条例啓発員」制度を創設。区民等が路上喫煙だけでなく、路上放置物に対しても注意・啓発が可能に

**拡充** 独自の 客引き行為等の防止対策 3,515 万円 安全生活課

- 平成 26 年度に区独自に「客引き防止条例」を制定
- 秋葉原東部・神田駅周辺で地域団体が、地域ルールを定め活動中
- 平成 29 年度は、民間警備員のパトロールを継続して実施、他地域への導入を検討
- 街頭スピーカーの試験的な設置により啓発を充実し、地域を支援

# 平成29年度当初予算

## 各会計予算の規模

(単位：百万円)

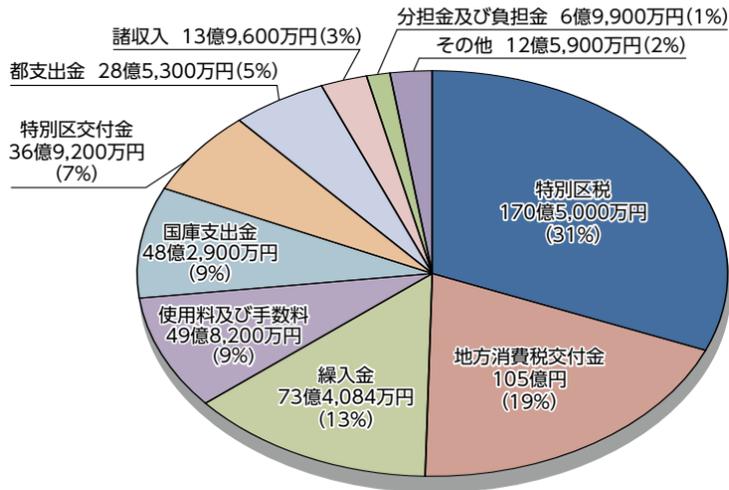
平成 29 年度の全会計の予算規模は、668 億 1,585 万円で、前年度対比 12 億 3,389 万円の減(△ 1.8%)となりました。

一般会計は、545 億 9,914 万円、前年度対比 12 億 5,896 万円の減(△ 2.3%)となり、全会計合計および一般会計ともに 5 年ぶりのマイナスとなりました。

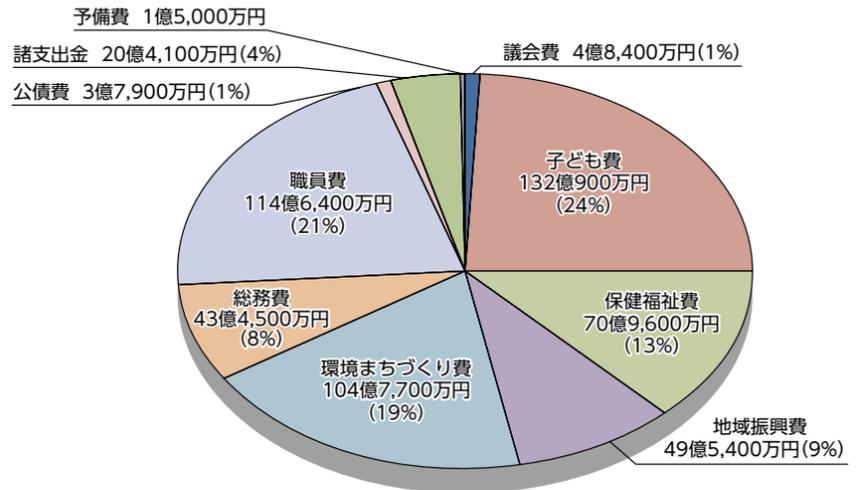
会 計 名	平成 29 年度	平成 28 年度	増 (△) 減額	増 (△) 減率
一 般 会 計	54,599	55,858	△ 1,259	△ 2.3%
国民健康保険事業会計	6,091	6,104	△ 13	△ 0.2%
介護保険特別会計	4,538	4,551	△ 12	△ 0.3%
後期高齢者医療特別会計	1,587	1,538	50	3.2%
全 会 計 合 計	66,816	68,050	△ 1,234	△ 1.8%

※千円単位で計算し、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

## 一般会計歳入予算額

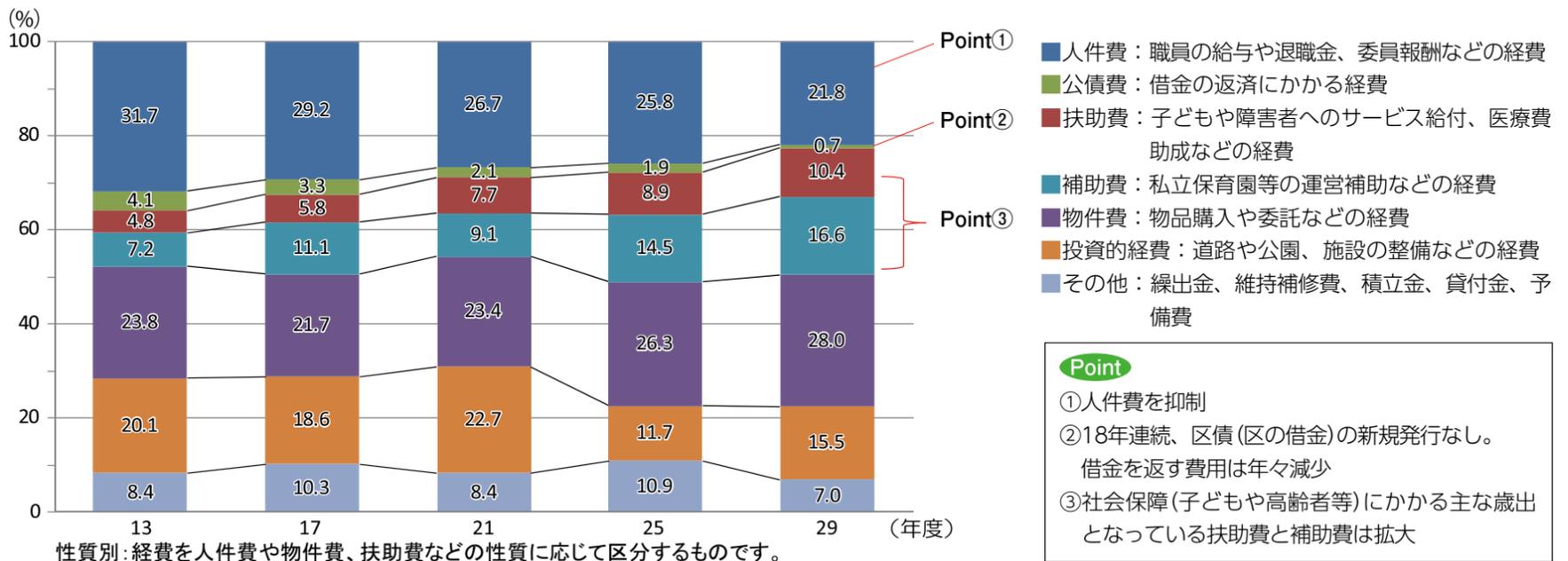


## 一般会計歳出予算額(目的別)

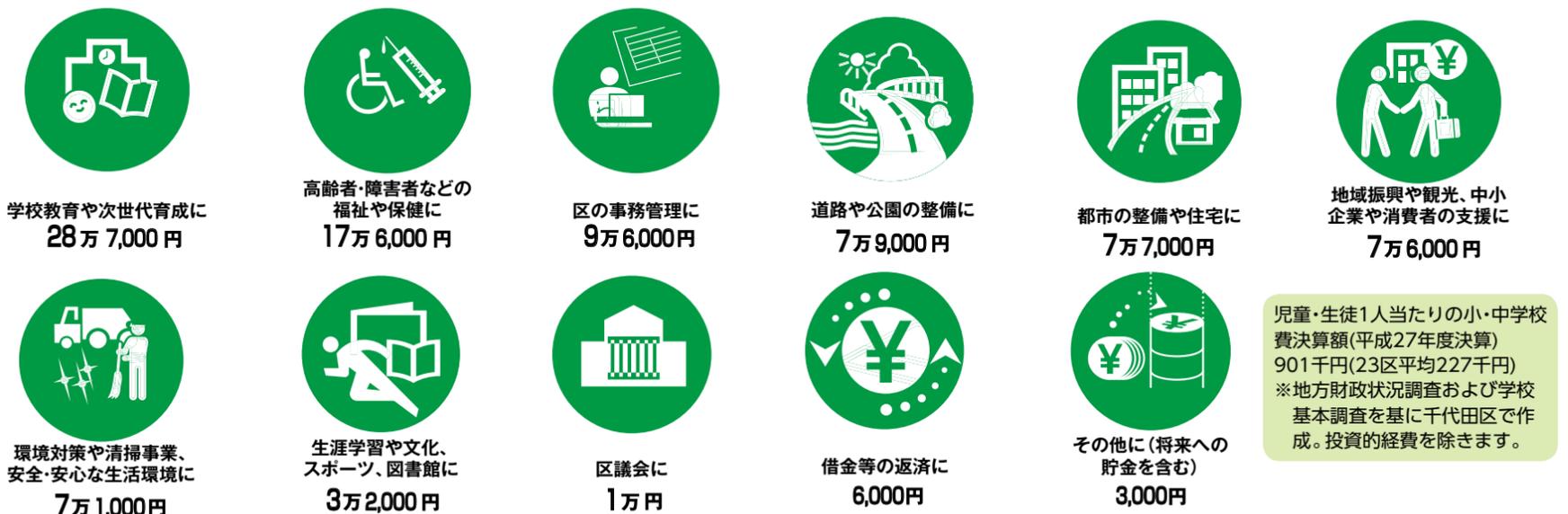


目的別：経費を議会費や子ども費、保健福祉費などの行政目的に応じて区分するものです。

## 一般会計歳出予算(性質別)構成比の推移



## 1年間の区民1人当たりの予算額 91万3,000円



平成29年度一般会計予算額を施策分野ごとに、平成29年1月1日現在の住民基本台帳人口59,788人で除して算出した額です(千円未満は四捨五入しています)。